



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します

むらかみの話題

日本と台湾の架け橋8年目

8月29日(金) 交流の館 八幡



謝
謝

山北地区で、台湾実践大学からの研修生の受け入れを行い8年。今年は2年生の2人が約1か月半「交流の館 八幡」で、接客や観光について学びました。この日は、研修にかかわった皆さんの前で成果を発表。研修生の受け入れを当初から支えてきた小田幸子さんは「言葉が分からないところは、気持ちで通じ合うことができました。今後の活躍を期待しています」と話していました。

お菓子屋さんともち協がコラボ!

「夢のあらかわ氷」を販売

8月30日(土) あらかわ地区まちづくり協議会(支援・情報部会)



菓子店とのコラボ商品「夢のあらかわ氷」(いちご・抹茶・キャラメル・マンゴーの4種)が荒川ショッピングセンターアコス内で販売され、買い求める人たちが賑わいを見せました。主催した同協議会の横山部会長は「お客様に喜んでいただけて大変うれしい。今日の売り上げはすべてあらかわスイーツの宣伝費に充てる予定で、今後も自立した活動を目指し、あらかわ地区をさらに盛り上げていきたい」と話していました。



8月18日(月) 村上警察署
今の気持ちを忘れずに「交通安全20歳の誓い」

神林交通安全全母の会では、毎年成人式会場で新成人から「交通安全20歳の誓い」の署名を集め、村上警察署に提出しています。今年集まった新成人361名の署名を、代表の齋藤一毅さん(松沢)と田中陸さん(同)が提出しました。署長からは、「地域全体で交通安全に努めており、ぜひ若い世代にけん引してもらいたい。」との言葉があり、2人は「初心を忘れずにこれからも交通安全に努めたい。」と誓いを新たにしていました。

伝統農法で伝える地域の魅力

8月28日(木) 中浜集落



山北地区の田舎暮らしや農業を体験する「週末百姓やってみ隊」。第5回目の活動は、特産品の「赤かぶ」を栽培するため、伝統農法の「山焼き」に挑戦。毎年山焼きは火がよく見え、風が穏やかな夜間にかけて行いますが、今年は雨続きで平日の日中に延期して実施しました。無事に種まきを終えた隊員は、「10月末の真っ赤なかぶの収穫が楽しみです」と話してくれました。



ウェブで検索してみてね

焼き印版作りで風情を

9月7日(日) 塩谷中央公民館



塩谷活性化協議会では県の支援を受け、10月の町屋散策に飾る焼き印作りを行いました。申し込みのあった130軒分を型紙から書き写し、彫り上げて色を塗り、光沢をつけて完成させます。参加した高校1年生の田村さんは、「自分の家の焼き印を作って飾ることで、大事にしていきたい。」と話していました。



地域医療を支える人材育成を目指して

(新潟県村上地域振興局健康福祉部)

8月22日(金) 厚生連村上総合病院

医療に興味を持つ中学生・高校生を対象に、「医療現場体験見学会」が開催されました。この日、参加した生徒は49人。救急外来、薬剤部、検査科など、医療の現場を順番に見学し、それぞれの仕事内容や役割について、説明を受けたのち、一次救命処置を体験しました。病院で行われる医療現場の体験見学会は、村上地域では初の試み。地元の若者が、地域医療を支える人材となってくれることが期待されています。

集落のお宝を再発見

9月7日(日) 大須戸集落



地域内にあるさまざまなお宝箇所を再発見し、郷土愛を育みながら後世に伝えていこうと、塩野町地域まちづくり協議会が開催しています。汗ばお陽気となったこの日に『農家民宿ひどこ』には約30人が集合。集落内を徒歩や車で巡回し、古民家や家宝・石碑などのいわれを学びました。また、集落のお母さんたちによる手作りの逸品料理が振る舞われ、胃袋と知恵袋を満たした一日となりました。

絆を結ぶ豊年踊り

9月2日(火) 布部集落



毎年の神楽にあわせ豊年踊りを行っています。社殿内には昭和23年に新潟県舞踊大会に出場し表彰された写真が飾られており古くから盛んだったようです。今年も青年会組織が奏でる笛太鼓に、思い思いに仮装した踊り子たちが踊り、今もその伝統を守っています。